

発行日 2014 年 1 月 6 日

バラスト水処理装置 商品化に向け 有効試験完了

小型貫流ボイラのトップメーカーである三浦工業株式会社(本社 愛媛県松山市 社長 高橋祐二)は、開発中のバラスト水処理装置 (BWMS) について商品化へ向けての陸上試験完了に続き性能試験が終了したことをお知らせします。

記

現在、開発中であるバラスト水処理装置は 2013 年 3 月に陸上試験を完了し同年 8 月から船上試験を開始しました。船上試験においては、200 m³/h タイプは 8 月、300 m³/h タイプは 12 月にそれぞれ性能試験を終了しました。

今後、2014 年 2 月に 200 m³/h と 300 m³/h タイプの船上試験を終了予定です。この船上試験の完了をもって国土交通省へ申請し、承認取得時期としては、2014 年 4 月を目標としています。

承認取得後は、USCG (米国沿岸警備隊) のバラスト水処理ルール適用のために AMS*1 申請に速やかに取り掛かる計画です。

※1: IMO により承認された型式のバラスト水処理装置が、USCG により一時的に認められる AMS (Alternate Management Systems) と呼ばれる措置で認められています。

【バラスト水処理装置の特長】

- ・船舶運航に従事される方が簡単に取り扱いできます。
- ・定期ドックでのオーバーホールで日常メンテナンスの作業工数と時間を軽減します。
- ・自社開発の独自のフィルタ構造により、確実に L サイズ以上の生物・異物を捕捉します。
- ・捕捉した L サイズ以上の生物・異物は、「自動逆洗」と「2 段階洗浄方式」で洗浄、排出します。
- ・S サイズ以下の生物は、紫外線殺菌方式で殺滅処理します。
- ・紫外線照射量をセンサー制御することで、高い殺滅性能のまま省エネ運転を行えます。

2018 年度の売上目標を 100 億とし、今後は商品ラインナップ拡充に向けて開発と量産化を進めていきます。販路は取引実績のある造船所・販売店・船主・オペレータを中心に予定しており、海外への販路も開拓していきます。

三浦工業自社によるアフターサービスについてもサービス拠点の拡大を進めていきます。現在の日本国内 4 拠点 (松山、福山、東京、福岡)、シンガポール、ロッテルダムのほか、新たに中国 3 拠点 (青島、上海、広州)、台湾*2、ヒューストン*3 を計画しています。

※2: 2013 年 11 月 1 日付けで駐在所設立。

※3: ヒューストンへのサービス拠点開設は 2015 年度を目標としています。



ユニットタイプ製品イメージ

▼お問い合わせ先

三浦工業株式会社 ブランド企画室

TEL : 089-979-7019 FAX : 089-979-7126

Mail: burandokikakushitsu@miuraz.co.jp